

縄文道通信第87号
天然資源から人財価値—そして
縄文道へ—

縄文道—武士道—未来道

一般社団法人縄文道研究所
代表理事 加藤 春一

天然資源から人材価値、そして縄文道へ

—日本復元の鍵は縄文道にあり—

日時： 2022年3月10日(木)

場所： 如水会館

主催： 一橋大学OB会 有志

一般社団法人縄文道研究所
代表理事 加藤 春一

まえがき①「天然資源から人財価値、そして縄文道へ」

- 1) 瀬戸の陶祖 加藤 藤四郎景正 分家 二十三代目として大連にて誕生。
陶磁器への関心が強かった。 石と土の家系。
三代目景長赤津に分家 十六代 景吉忠
兵衛三都屋初代 十八代 景登紋蔵 尾張藩苗字帯刀 許され、
瀬戸の陶祖景正の陶祖碑 建立。
二十代 瀬戸助 三都屋 破綻 禁治産者になる
二十一代 田之助 北海道に渡る
二十二代 正之助 平成書道連盟会長
二十三代 春一
- 2) 日商岩井 鉄鉱石部 配属 鉄鋼業の基礎資源
世界5大陸 56か国訪問 鉄鉱石資源と共に
西豪州 ピルバラ ブラジルアマゾン インド ゴア
ペルー ベネズエラ カナダ 南アフリカ鉱山視察
- 3) パース陶芸クラブにて岡本太郎の「4次元との対話 縄文土器論」に出会い、
1989年10月7日 縄文土器と対面して感銘を受ける。以来世界陶磁器文化の研究。

「歴史を含め世界の文明、文化は相互に影響あっている」
「歴史と文化に対して謙虚であって、文化に優劣はない」

まえがき②「天然資源から人財価値、そして縄文道へ」

- 4) ブリュッセル駐在でヨーロッパの陶磁器文化に触れる。
マイセン、からウエッジウッドまでヨーロッパの殆どの窯元、陶磁器美術館を訪ねて英文にて寄稿。
- 5) 帰国後、日本人材紹介事業協会名誉会長、日本弁論連盟会長、東京エグゼクティブ・サーチ株式会社創業者、旭日双光賞受賞者、江島 優との劇的な出会いがあった。
エグゼクティブサーチコンサルタントに転身、約15,000人の経営者を中心に人財と出会う。
- 6) 過去の天然資源と人財資源のビジネスの結晶として2017年に
一般社団法人縄文道研究所設立
- 7) 2018年1月12日 特許庁から「縄文道」の商標登録が認可され、以来、50回以上の講演、85号の縄文道通信を発行。現在「世界へ縄文道を語り継ぐ会」設立準備中。
- 8) 14,000年継続した縄文文化が日本人の源流 古神道を生み出した。
縄文道と古神道を伝播予定。

1. 縄文文化 理解の前提認識

「文化は歴史から生み出される」

生活様式（衣食住）、社会構造（政治、経済、社会）、
世界観（歴史、宗教、哲学）、価値（道徳、倫理感、美意識）

Dr. Grifford Geerts

（プリンストン大学、ハーバード大学教授、文化人類学者）

「歴史を含め世界の文明、文化は相互に影響あっている」

「歴史と文化に対して謙虚であって、文化に優劣はない」

2. 宇宙の起源から縄文時代までの 歴史の概観

- | | | | | |
|----------------|-------|-----------|----|-----------|
| 1. 宇宙起源 | ビッグバン | 138億年前 | | |
| 2. 地球誕生 | | 46億年前 | | |
| 3. 生物の誕生 | | 38億年前 | | |
| 4. アフリカの猿人誕生 | | 700万年前 | | |
| 5. 原人への進化 | | 250万年前 | | |
| 6. 旧人ネアンデルタール人 | | 約35—40万年前 | 出現 | 約22万年前 滅亡 |
| 7. 新人ホモサピエンス出現 | | 約20万年前 | | |
| 8. ホモサピエンス日本到着 | | 約38,000年前 | | |

①旧石器時代 38,000年—16,500年 3万年前 姪良丹沢噴火

②縄文時代 16,500年前—約2,500年前

③アカホヤ噴火 鬼界カルデラ 7,300年前 縄文海進
マイナス140M—4~5M 海面上昇

3つの巨大自然災害を理解の上、縄文文化理解が必要あり。
又世界の大文明、文化は全て人と物のネットワークで繋がり
相互に影響を及ぼしていたとの認識が必要。

3. 縄文文化の担い手 縄文人の世界性、偉大性、 パワー（環境考古学者内山 純蔵博士 情報）

- ・ アメリカ エスキモー、アメリカ、アステカ、インカ 子
リーまで 縄文人DNA と一致。
ノースカロライナ大学でほぼ実証。
- ・ ヨーロッパまで一バルト3国 シベリア迄 犬ぞり縦断。
約2週間
彼の地で縄文土器と同じ土器発見。
- ・ シュメール文明
楔形文字の日本発見と縄文人のシュメールへの回帰
「故吉田啓信 リトグラフ協会会長」

4. 縄文道観点から見える日本が面している10の危機

1. 自然災害—気候変動—パンデミック—コロナ 地震、台風、津波、火山爆発
2. 核兵器戦争、紛争、対立—北東中心のアジア情勢の不安定
3. 環境問題—脱炭素—原発危機—福島原発未解決
4. エネルギー確保問題、石油、天然ガス、原子力、自然再生エネルギーバランス
5. 世界中からのサーバー攻撃
(年間1兆回近いサイバー攻撃を官僚組織、民間、大学研究機関が受けている)
6. 世界金融危機の可能性
(世界の総負債額2京7,000兆円 日本の財政、経済への影響甚だ大きい)
7. 食料危機 (自給率38%、自給と食料生産の付加価値化)
8. 第一次産業疲弊 (農林水産業の復元—AI ロボット化)
9. 人財不足とDIVERSITY への転換送れ (DX人財 約79万人女性の登用率低く、外国人財の受け入れ率も低い)
10. 人間力 (総合的能力の劣化) 人間性 (倫理観、道德感の欠落)
人間観 (歴史観を含め浅薄)

5. 縄文文化の価値発見 5人の功労者

エドワード・モース 1877年

大森貝塚発見 code earthenware 縄文土器の命名者

岡本 太郎 1956年11月7日

縄文土器の芸術的価値発見

梅原 猛

縄文文化の精神性、宗教性—環境適応力、日本化力、復元力

小林 達雄

縄文文化の未来への可能性—

「縄文文化が日本人の未来を拓く」

齊藤 成也

縄文人の遺伝子をDNA を通じて解明 「日本人の源流」

6. 縄文文化の希少性、偉大性、世界性

- ・ 世界最古の土器の発明
- ・ 他の主要な世界文明より遥かに古い

シュメール メソポタミア エジプト文明	} BC 3,500 — BC 3,000
---------------------------	-----------------------

インダス文明	BC2,500
黄河文明	BC2,000

上記文明年代は 最盛期都市文明

縄文文化は連続性、一貫性、影響力が基層で現代に繋がる。

7. 縄文文化の大きな特徴

- 遺伝子の観点から
ミトコンドリア 女性 Y染色体 男性 核DNA -塩基度
本土人 平均12-14%
アイヌ人 約60%以上
沖縄人 約25-27%
- 齋藤 成也 東京大学教授 書籍
講演から「縄文を極めなさい」と 激励 受けている。

縄文文化の現代への影響

衣食住 全て現代の生活まで影響力

衣生活—巻頭衣—和服—三宅—生
セッションワン—パリコレ

住生活—竪穴式—高床式—現代木造
オリンピック競技場 隈 研吾
精神生活—古神道—宇宙、自然との一体、
共同生活から武士道の主張する倫理体系の基層

食生活—和食—健康食—無形世界
遺産—食材の多様性 約1,500種
貝類 350種類 魚類 200種類
昆布 90, 鳥類 80 哺乳類 60

- 精神、価値観 3つの力
復元力、環境適応力、日本化力

8. 縄文道、武士道と倫理観

新渡戸稲造博士の「武士道」

BC 660年以降の日本人の倫理
神道、仏教、儒教—神仏儒思想

縄文道の精神（古神道を形成）

BC660年以前 約14,000年で形成された日本人の精神

「古代、縄文時代において、太陽を崇拝し自然と共に生きることが、人々の倫理観の中心—アニミズム、シャーマニズム」

和辻 哲郎 日本倫理思想史

自然信仰、先祖信仰、精霊（言霊）信仰

普遍の道

自然との共生—環境調和

平和な生活 — 平和思想

母性尊重 — 男女協働参画

富の平等性 — 倫理資本主義

国連のSDG's の先駆者

縄文 ユートピア論

大和の道

匠の道、芸術の道、

武士道の道（倫理） 武術の道

縄文道—武士道—未来道

日本人のアイデンティティーを世界に説明可能

9. 縄文道経営とは

縄文人とは、リスクテイカー、イノベーター、チャレンジャーであった。
歴史的に30年で世界一に成ったもの。

鉄砲、磁器、生糸、鉄鋼、半導体、自動車、ピアノ、ウイスキー、ワイン

組織論

1. OPEN

開放的、透明性
グローバル化への対応
高い倫理経営

3. SIMPLE

単純化、簡素化
規制緩和の推進、分かりやすい

2. FLAT

水平型 DX型
インターネット社会への対応

4. SMALL

小規模組織、分社化による機動力増加

経営者個人

1. 五感を鍛え、六感を養い、直観を重視
2. 不可知論、形而上学の重要性（宗教、哲学、特に倫理観、道徳心）
3. AI, ロボット、DX デジタルへの理解
4. 教育的（受け身）思考から啓育的（自発的、積極的）思考への転換

10. 縄文道経営と新縄文人

日本経営再生と8つの危機の克服への鍵—
グローバル化、インターネット化、ジョブ型化の対応

弥生型から縄文型への転換

弥生型
生理功直社定規効適
年垂就固規効適
管年垂就固規効適
硬教育

縄文型
文態果平職動由果切育
動成水就変自効適ソフ啓
成水就変自効適ソフ啓

新縄文人経営者とは

1. 危機への対峙者
2. 挑戦者
3. 変革者
4. 成果主義者
5. 起業家
6. 倫理主義者

縄文道経営者は縄文人的思考と行動の人

1 1 . 縄文道経営を担う新縄文人とは

8 C

COURAGE	現状打破への勇氣
COMMON SENSE	逞しい常識
COMMONLY USEFUL SKILL&KNOWLEDGE	世界で通用する技能と知識
COMPETENT	成果を出しうる意識と行動—能力
COMMUNICATION SKILL	伝達能力
COMPLIANCE	遵法精神
COOPERATIVE MIND	協力、協調の精神
CULTURALLY BARRIER FREE	異種文化の壁を乗り越えられる

組織と人の変革コンサルタント 最高の集団 APIコンサルタンツ
松本 洋 社長 <https://www.api-ga.co.jp>
人財サーチ部門 <https://www.api-c.co.jp>

1 2. 縄文道経営の実践者事例

人間主義経済と経営ーヒューマノミックス経済と経営の実践者

10回の転職ー転職 小島 慶三 先生

鎌倉禅寺での修養、経済産業省、日本銀行、日本精工 芙蓉石油

日本テクノマート、日本立地センター、経済同友会 、4大学

(一橋、名古屋、上智、成蹊)での講師、参議院議員、84冊の書籍

宇沢 弘文

社会的共通資本

原 丈二

公益資本主義

13. 新縄文人経営者 真のリーダー育成の鍵

新渡戸稲造（クエーカー派）— 修養

門脇 佳吉（カトリック司祭）— 修行

日本の歴史的な修養と修行に人間力、人間観、人間性を鍛える処に鍵有り

- ・ 武術—柔道、剣道、相撲、空手、合気道 - 特に護身術としての合気道
- ・ 芸術—茶道、花道、香道、和楽—和太鼓—鼓童 三味線、尺八 琴
- ・ 座禅—瞑想、祈り
- ・ AI、ロボット、DX との融合のスキル、ナレッジの理解

座禅（静）と和太鼓—縄文太鼓（動）と合気道（和）と

フロネシス（賢慮）の実践

価値、倫理に就いて思慮、分別をもって、最善の判断と行為が出来る知恵

加藤 春一 プロフィール

1944年 満州大連にて瀬戸の陶祖、
加藤藤四郎景正の末裔分家23代目として誕生
1968年 上智大学経済学部卒
1968年—1998年 日商岩井（現双日）
西豪州代表、ブリュッセル 鉄鋼原料代表
1998年—2016年 東京エグゼクティブ
サーチ、8年半社長、ITP 日本代表
現在まで世界5大陸 56か国訪問
18年間の海外生活（大連、台湾、シドニー
ポートランド、パース、ブリュッセル）
サーチコンサルタントとして約1万5千人
の経営者と出会う。
現在迄、多数の縄文道講演、セミナー
縄文道通信85号
インターネットヒット数 約1,000,000回以上

著書

『世界一美しい町 パース』

国会図書館 永久保存版

『超・競争社会を勝ち抜く「能力Q」開発法』

みずほ総合研究所

『能力Qセルフプロデュース』

ビジネス社

『グローバル人材養成塾』

社会生産性本部

所属：国策研究会、米国商工会議所、
イスラエル商工会議所、日本ベルギー協会
APIコンサルタンツマネージング パートナー
国際縄文学協会、

以上